

齊藤ゆりの政策の柱

子どもは社会の宝 「教育環境」「子育て・子育て環境」の充実

- 放課後学習教室の充実
- 地域で学校を支える仕組みをつくる
- 児童館や子育て広場の機能拡充

すべての人が共に 生き生き暮らせるまち

- 自助・互助・共助・公助の連携
- 景観を大事にしたまち
- 西武新宿線沿線まちづくりの推進

みんなでつくる中野のまち

- 住民と行政が知恵と力を出し合っ進めるまちづくり
- 若者の社会参画支援

活動から一部をご紹介します (その他の活動はSNSをご覧ください)



- 1 (8/16) 平和の森公園整備工事状況確認
- 2 (10/31,11/7) 中野区療育センター「ゆめなりあ」「アポロ園」子ども発達センター「たんぼぼ」放課後デイサービスセンター「みずいろ」視察
- 3 (11/1) 「西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟」決起大会参加
- 4 (11/3) 国際交流運動会参加
- 5 (11/5-6) 子ども文教委員会視察(神戸市家庭センター他)
- 6 (12/3~) 公園遊具の安全確保に係る緊急対策事業現地確認
- 7 (12/16-18) 会派視察(大阪市生野区リノベーションまちづくり他)
- 8 (1/22) 交通対策調査特別委員会視察(新潟市BRT導入と新バスシステム)
- 9 (2/5) プログラミング教育勉強会(GIGAスクール構想等)参加
- 10 (3/3~) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策関連子ども施設・公園等現地確認ヒアリング等



【発行】立憲民主党・無所属議員団
【編集】齊藤ゆり事務所

みんなでつくるみんなのまち

中野区議会議員 子ども文教委員会副委員長
交通対策調査特別委員

齊藤ゆり

2020
SPRING

区議会レポート 第2号

議員として活動を
スタートさせて
1年たちました

議員として活動をスタートさせて1年たちました。この1年、暮らしにくさがあればそれを取り除き、困っている方があればお話を伺い、幸せな区民があふれる中野のまちの実現をめざして活動してまいりました。このたび活動をご報告する新しい区議会レポートができました。お読み取りいただきまして、ご意見をいただければ嬉しく思います。これからもみなさまの声を区政につないでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策

世界中で感染が拡大し、いつ終息に向かうのか、影響がどのくらいまで及ぶのかなど予測不可能な状況にあります。みなさまも不安な日々を過ごされていることでしょう。議員団として区に対して、庁内の危機管理体制強化、感染拡大防止、区民・区内事業者への支援、子どもの保育に関すること、情報発信や情報公開のあり方ほか、様々な要望をしています。

■中野区電話相談窓口

< 新型コロナウイルス感染症についてのご相談 >

03-3382-6532

[受付時間] 9:00~17:00まで(土・日・祝日を除く)



新型コロナ関連 相談窓口一覧はこちら

中野区 028780

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/nakano/d028780.html>



■中野区の新型コロナウイルス感染症への対応についてはこちら

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/102500/d028283.html>

齊藤ゆりは子どもたちを守ります!

学校休業による子どもたちへの影響は特に大きいと考えます。学習の遅れや子どもの安全に関する取り組みを最優先で考えます。

感染予防対策の基本は

「手洗い」と「せきエチケット」

栄養バランスのとれた食事や十分な休養も大切です。

3つの密を避けましょう。「密閉」「密接」「密集」

齊藤ゆり 区議会レポート 第2号 (2020.SPRING)

[編集・連絡先]

齊藤ゆり事務所

活動報告
しています♪

中野区鷺宮4-21-13
電話 090-1693-5972
メール lis@saitoyuri.jp

@saitoyuri.jp

@saitoyurilis

【発行】立憲民主党・無所属議員団 中野区中野4-8-1
電話 03-3228-8876 / FAX 03-3389-8718

あなたの声を
きかせて
ください!



HomePage



齊藤ゆり プロフィール

中野区鷺宮出身/1962年5月生まれ
家族 会社員の夫と娘3人
保護司 J-SHINE 小学校英語指導者

[学歴]

中野区立西中野小学校 / 第八中学校
東京都立富士高等学校 / 東京女子大学文理学部卒業

[就職]

大和証券事業法人部 / イノテック株式会社 出産を機に退職

[活動略歴]

- ・鷺宮学園幼稚園・中野区立鷺宮小学校・北中野中学校にてPTA活動
- ・「鷺宮の歴史をたどる会」副代表 「鷺宮の歴史をたどる」冊子発行
- ・武蔵台小学校ALT外国語活動指導助手
- ・中野区青少年問題協議会委員(第21期)
- ・北中野中学校区中野区次世代育成委員(第3期、第4期途中退職)
- ・学校評議員(中野区立かみさぎ幼稚園、西中野小学校)
- ・鷺宮小学校西中野小学校統合委員会委員

現在は

- ・鷺宮四丁目町会 監査
- ・青少年育成鷺宮地区委員会副委員長
- ・地域ポータルサイト「さぎのみや.net」運営

齊藤ゆり 中野区

検索 <https://saitoyuri.jp>

メール アドレス → lis@saitoyuri.jp



10/21 立憲民主党・無所属議員団 予算要望を区長に提出しました。



斉藤ゆりの

一般質問と予算総括質疑 ダイジェスト

令和元年 第4回定例会にて一般質問をしました。

予算総括質疑とは？
予算特別委員会にて予算全般にかかることについて一問一答形式で質疑を行うもの。

令和2年 第1回定例会
予算特別委員会にて総括質疑をしました(その1)
2020.2.27

子育て先進区 における 学校教育について

学校教育予算の充実を！

問 学校教育予算の指標の一つが校割予算だが、近年どのように充実がはかられているか？

答 算出の基礎となる児童・生徒一人当たりの単価の増や大規模校について加算を行うなど予算の増を図っている。

問 中野区の教育費は23区内では16位と中位である。この状況をどう考えるか？

※決算カードで23区を同年比較したデータによる。(施設整備があるとその年度は大きくふくれてしまうため)

答 これからの新しい学校教育や学び方をさらに推進していけるよう教育環境の充実を図っていききたい。

YURI・MEMO
学校の置かれた状況や取り組んでいることについて、家庭や地域に理解や協力を求めることも必要。地域社会もまた一丸となって学校を支えていけるようでありたいです。

先生が子どもと向き合う時間を十分に確保する取り組み

平成30年に行われた中野区学校教員勤務実態調査によると教員の平日1日あたりの在校時間は11時間を超えています。

問 教職員の忙しさの改善は最優先の課題では？

答 早急な改善の必要があると認識している。

先生に余裕がなければ良い教育は望めません。「人を増やす」「仕事を減らす・効率化を考える」「教員の心身の健康を守る」ことを考えてみました。

問 人を増やす取り組みは？

答 教育委員会としても任期付短時間勤務教員、中学には部活動指導員。要望がある場合は、副校長業務補助員などさまざまな人を配置している。

問 採用はどうしているのか？

答 教育委員会で採用するものと学校独自で採用するものがある。

学校における採用の負担はとても大きいので教育委員会へフォローを要望しました。

問 仕事を減らす取り組みは？

答 これまでの学校行事のあり方や業務そのものを根本的に見直す必要がある。各校の状況に応じた働き方改革推進に取り組む。

問 教員のメンタル面でのサポートは？

答 支援等取り組んでいる。

問 区だけの力では解決できないことがある。副担任制や専科の先生の配置等教員数の増加、教員の持ち時間の上限を設ける等、抜本的な対応を都や国に働きかけていくことが必要ではないか？

答 区では独自に短任教員を配置する等対策をとっており一定の成果を上げてきている。教員の定員増は区の取り組みでは実現しない。引き続き都や国に要望していききたい。

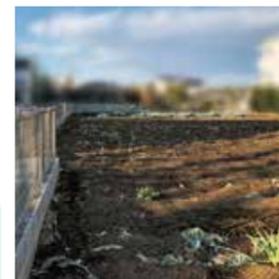
令和2年 第1回定例会 予算特別委員会 総括質疑 (その3)
2020.2.27

まちの風景を大事にした みんなで取り組むまちづくり

生産緑地・未利用地や学校跡地等について

問 貴重な緑やオープンスペースでもある生産緑地は、平成5年には25箇所5.46ヘクタールもあったが、現在上鷺宮、鷺宮、大和町に8箇所となってしまった。今後土地利用の方針を考えていくべきでは？

答 活用のあり方等については、個々の立地条件等を踏まえて検討を進めていくことが大事だと考えている。



景観まちづくりについて

現在の中野区では景観についての取り組みが十分ではありません。日本ではまちをつくるという意識のないまま機能重視で施設を作り開発を進めてきたがために、統一性のないまち並みとなってしまっていることがあります。

問 区としての景観行政を今後どのように進めていくか？

答 令和2年度に景観行政を進めるための指針となる(仮称)景観まちづくりガイドラインの策定に向けた準備を進める。その後、景観法に基づく景観計画を策定していく。

YURI・MEMO
中野駅周辺や西武新宿線沿線でもまちづくりが進められるタイムリーな時期。エリアマネジメントに景観という視点をぜひ取り入れていただきたいです。

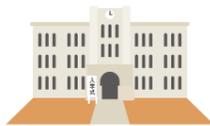
2019.11.27

第四中学校・第八中学校 統合のスケジュールについて

統合校の新校舎完成は、工事の遅れにより令和7年度以降となりました。敷地内の擁壁整備、近隣の都営住宅の建て替え、妙正寺川の改良工事とそれに伴う丸山橋架け替え工事の影響が理由です。

統合時期について教育委員会で検討されましたが、延期されることなく、計画通り令和3年度に第四中学校位置の仮校舎で開校することになりました。

鷺宮地域から第四中位置の仮校舎まで、在学中3年間遠距離を歩く学年が出てしまいます。



問 統合後の遠距離通学に対する対策は？

答 警察等と連携をとり安全対策に取り組む。遠距離通学者への負担軽減策として公共交通機関の利用等については学校と調整し検討する。

鷺宮小学校と西中野小学校の統合校は、令和5年に第八中学校跡地に新校舎が建設され開校する計画です。

問 鷺宮小学校・西中野小学校の統合後も現在の西中野小学校通学区域に適用されている中学校の指定校変更の特例は継続されるか？

答 中学校においては遠距離通学を理由とした特例はないが、どうしていくか検討していきたい。

YURI・MEMO

学校再編はまちの再編ともいえる大きな問題。また子どもたちにとっては1年でもかけがえのない時間です。保護者と子どもたち、地域には丁寧で正確な情報を提供するように要望します。

令和2年 第1回定例会 予算特別委員会 総括質疑 (その2)

2020.2.27

若者支援について 若者政策について

地域での活動の中で、不登校やひきこもり、予期せぬ妊娠や性に関する悩みなど、若者特有の問題について課題に思ってきました。

問 現在若者特有の問題について相談窓口があるか？

答 今は他の相談と同様にすこやか福祉センターが窓口だが、令和3年開所予定の(仮称)総合子どもセンターで支援していく予定である。

問 社会人としての自立につながる就労支援は特に必要である。若者が相談しやすい就業支援事業は？

答 就労相談・面接会の実施、就労求人支援サイト「ぐっ JOB なかの」の運営、また生活困窮者向けには、「なかのくらしサポート」での相談後、必要に応じて就労支援事業「中野就職サポート」就労支援準備事業「なかの就労セミナー」等で個別に支援をしている。

シティズンシップ教育について

シティズンシップ(citizenship)教育とは？

市民つまり社会の構成員の一人としての役割を果たせるようになることを目指す教育。主権者教育とほぼ同義。

若者政策は支援だけではない！

若者の力が発揮される環境を整えることも大切です。

問 今あるハイティーン会議を、生涯にわたって中野を大事に思い関わってくれる若者を育てるような、区によるシティズンシップ教育の場として、新しい視点をふまえたものとして進めてはどうか？

答 先進自治体の事例を集め、当事者の声や地域の方々の声を聞き、育成課題、地域課題を念頭におきながら検討していきたい。

YURI・MEMO

軽度な発達障害があるために仕事が長続きしないなどの課題を抱えているケースもあります。個別な支援を要望します。



2019年11月10日(日)
開場 13時30分
開会 14時00分
場所 中野区産業振興センター 大会議室
主催 中野区
<テーマ>「投票」/「行けどき投票」